

ご挨拶

兵庫県知事

齋藤 元彦



県では、労働者・使用者・経済団体、行政による政労使会議を開催し、オール兵庫で生産性向上と魅力ある労働環境づくりに取り組んでいるところです。

地域社会で人手不足が深刻化するなか、県内中小企業が持続的に発展していくためには、女性、高齢者を含む国内人材に加え、外国人材の確保が重要です。そのため、県では、良質な外国人材が安心して県内企業に就職し定着できるよう、11月にひょうごグローバル人材活躍企業認定制度を創設しました。

本セミナーを通じ、異なる国籍や文化をもつ方々と互いに理解・尊重し合い、共に活躍できる職場づくりが進むことを願っています。

ご挨拶

兵庫労働局長

金成 真一



少子高齢化が進展する中、兵庫県内における外国人労働者を雇用する事業場及び外国人労働者は年々増加傾向にあり、また、令和6年の外国人労働者の死傷者数は155人と増加傾向にあります。このため、外国人を雇用する際には、在留資格に応じた業務内容の把握や、労働災害防止対策が不可欠となっています。

兵庫労働局では、外国人労働者を雇用する事業者に対し、外国人雇用状況届出の助言・指導や、視聴覚教材等を活用した効果的な安全衛生教育の実施を推進しています。

今回のセミナーを通じて、外国人労働者の雇用への理解を深められ、誰もが働きやすい職場となることをご期待申し上げます。

外国人にも日本人にも 魅力的な働き方の為に

兵庫県経営者協会 会長

成松 郁廣



少子高齢化による労働力不足は、介護職員をはじめエッセンシャルワーカーの担い手が圧倒的に不足するなど、社会に少しずつひずみを生んでいます。神戸市の生産年齢人口は2025年89万人、2040年には73万人と2割減ると見込まれます。今後さらに外国人に頼らざるを得なくなるのは確実です。

ただし優秀な外国人労働者に日本に来て頂く為には、日本社会が魅力的であることが必要であり、また能力を発揮して働いて頂く為には、各受入れ職場がノウハウを習得し実践する必要があります。外国人労働者の働きやすい職場は、日本人労働者にとっても良い職場です。本セミナーに多くの皆様に参加されることを望みます。

外国人労働者との 共存共栄に向けて

連合兵庫 会長

那須 健



日本の抱える課題のひとつは、超少子高齢化です。これは、日本の社会構造全てにおいて様々な問題の根底にあります。

働く現場においては、人手不足が極めて深刻であり、様々な産業で人材の獲得競争が繰り広げられています。その不足する人材の調整弁的な役割として、外国人労働者を受け入れてきた我が国は、既に諸外国から労働の魅力の無い国という烙印を押されているのかも知れません。今や外国人労働者無くして、日本経済は成り立ちませんし、貴重な戦力でありパートナーです。様々な業種で働く外国人の労働条件や悩みを受け止め、共存共栄が求められます。本セミナーは、互いの立場を理解、尊重し、働きやすい職場を築くことをめざします。

多様な人材とともに築く、 公正で安心な職場づくり

兵庫県社会保険労務士会 会長

牧山 浩之



外国人材の活躍が広がるなか、企業においても多様な人材が安心して働ける環境づくりが重要となっています。

適正な雇用管理や社会保険の手続きに加え、異なる文化や価値観への理解を深めることが、持続的な企業成長につながります。

また近年は「ビジネスと人権」の視点からも、公正で人権を尊重した職場づくりが求められています。

社会保険労務士は、専門的な知見をもって、事業主の皆さまとともに、誰もが働きやすい職場環境の実現を支援してまいります。

外国人雇用に関する相談窓口

◆ 兵庫労働局



◆ 兵庫県



◆ 兵庫県
社会保険労務士会



◆ 兵庫県経営者協会

info@hyogokeikyo.com

◆ 連合兵庫

info@hyogo.jtuc-rengo.jp